

情報通信審議会 総会（第45回）議事概要

1 日時 令和3年9月30日（木）11:00～11:33

2 場所 Web会議による開催

3 出席者

（1）委員（敬称略）

内山田 竹志（会長）、尾家 祐二（会長代理）、安藤 真、
泉本 小夜子、伊丹 誠、市毛 由美子、江崎 浩、江村 克己、
岡田 羊祐、上條 由紀子、熊谷 亮丸、桑津 浩太郎、國領 二郎、
越塚 登、三瓶 政一、高橋 利枝、東條 吉純、平野 愛弓、
堀 義貴、増田 悦子、森川 博之、横田 純子（以上22名）

（2）総務省

武田 良太（総務大臣）、竹内 芳明（総務審議官）

（国際戦略局）

田原 康生（国際戦略局長）、藤野 克（官房審議官）
新田 隆夫（技術政策課長）、

（情報流通行政局）

吉田 博史（情報流通行政局長）、竹村 晃一（官房総括審議官）、
辺見 聡（官房審議官）、大村 真一（情報通信政策課長）

（3）事務局

三田 一博（情報流通行政局総務課長）

4 議題

（1）諮問案件

① 「2030年頃を見据えた情報通信政策の在り方」について

【令和3年9月30日付け諮問第26号】

【内容】

国民生活や経済活動における情報通信の果たす役割やその利用に伴うセキュリティの確保が一層重要なものとなっている。そうした中、特にコンテンツ・サービス・端末・機器のレイヤーにおける海外のプラットフォーム事業者やベンダーの存在感の高まり、また、近年の米中の緊張関係等の国際情勢の変化を背景とした情報通信分野のサプライチェ

ーンリスクといった課題が顕在化している。そこで、今後の情報通信分野の市場や技術、利用等の動向を踏まえ、2030年頃を見据えて、Society5.0の実現及び経済安全保障の確保を図る観点から、今後の情報通信政策の在り方について諮問されたもの。

本件は、情報通信政策部会に付託し、審議を進めることとした。

② 「Beyond 5Gに向けた情報通信技術戦略の在り方」について

【令和3年9月30日付け諮問第27号】

【内容】

コロナ禍でのデジタル化の進展等により、国民生活や経済活動における情報通信の果たす役割やその利用に伴うセキュリティの確保が一層重要なものとなっており、特に、Society 5.0の中核的な機能を担う次世代情報通信インフラ「Beyond 5G」については、激化する国際競争等を背景として、先端技術開発等の取組が重要な局面を迎えている。

今後の情報通信分野の技術動向や政府全体のイノベーション政策動向等を踏まえつつ、強靱で活力のある2030年代の社会を目指したBeyond 5Gの推進方策等についての検討・整理が必要であることから、Beyond 5Gに向けた情報通信技術戦略の在り方について、諮問されたもの。

本件は、情報通信技術分科会に付託し審議を進めることとした。

(2) 報告案件

① 情報通信技術分科会及び各部会の活動状況について

【内容】

情報通信技術分科会及び各部会の活動状況について、事務局より報告があったもの。

本会議にて配付された資料を御覧になりたい方は、総務省HPにおいて公開しておりますので御覧下さい。

また、総務省において、閲覧に供し及び貸し出しておりますので、以下まで御連絡をお願いいたします。

担当：総務省 情報通信審議会事務局 崎山、桑原

電話：03-5253-5432

メール johotsushin-shingikai/●/soumu.go.jp

迷惑メール防止対策のため、送信時は/●/を@に置き換えてください。